

# 新潟のおもてなし

会合でのおもてなしなどに協力していただいた皆さんの活動を写真で紹介します。

### 写真説明

- ①ブラジルの代表へのウエルカムメッセージを制作する内野小学校の児童
- ②新潟駅から会場へ向かう各国代表らを見送るにいがた観光親善大使とボランティア
- ③④⑤朱鷺メッセで各国代表らを笑顔で出迎える万代長嶺小学校の児童と宮浦中学校の生徒
- ⑥朱鷺メッセ展望室からの景観や新潟の歴史を案内する同中学校の生徒
- ⑦本会合の合間に新潟の「ル レクチエウォーター」を紹介するボランティア
- ⑧展示ブースで市内産の農産物をPRする中原市長とボランティア
- ⑨本会合会場で「持続可能な農業・食料分野に向けての提案」を英語でスピーチする高志中等教育学校の生徒
- ⑩歓迎レセプションで演舞を披露する古町芸妓
- ⑪同レセプションで太鼓を通して各国の代表らと交流する万代太鼓の皆さん
- ⑫同レセプションで演舞を披露するにいがた総踊りの皆さん
- ⑬同レセプションで新潟米の魅力をPRするボランティア



おもてなしに協力して  
いただいた方の  
声

各国・機関の代表の前で学びの成果を発表

持続可能な農業のための提言として、水資源を大切にすることや各国が互いに協力し合うことの重要性を発表しました。

私たちはこれまで、授業や討論を通して学年全体で農業のことを学んできました。今回の提言はこれまで学んできたことを基礎として、発表に向けて立ち上げた19人のプロジェクトチームが考えました。チームは「スピーチ原稿作成」「発表資料作成」「発表演出」の3班に分かれ、3カ月にわたる準備を進めました。

外国の農業の取り組みを調べる中で広い視野を持つことの重要性を学べたり、農家への取材を通して農業の現場の声を直接聞いたりする良い機会になりました。大勢を前にしての発表は少し緊張しましたが、何度も練習を重ねてきたので楽しみながらスピーチをすることができました。

今回の貴重な経験を将来に生かしていきたいと思えます。

### 交流を通して新潟の魅力を再発見

新潟が大好きで、新潟の良さを外国の方に伝えたいと思いボランティアに参加しました。新潟米を食べた外国の方から「おいしい。味に深みがある」と喜んでもらえたことがうれしかったです。自分では気付かなかった新潟の魅力や可能性を教えるという機会もあり、新潟をもっと知りたいと思いました。

今回、世界から注目されている国際会合の運営を手伝うことができ、とても良い経験になりました。ボランティアに参加しようか迷っていた時に背中を押してくれた家族に感謝しています。またこのような機会があれば、ぜひ参加して新潟の魅力を発信していきたいです。



ボランティア  
わたなべ たけし  
渡辺 健さん(西区)=上写真⑬=



高志中等教育学校5年生=上写真⑨=  
(写真左から福田 彩乃さん、西田 小侓さん、今井 瑞季さん)